

## タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 31 年 2 月 24 日（日）午後 2 時～3 時 30 分  
場 所 苗間分館（苗間東町会）  
参加者数 20 人



### 主な意見等

参加者 上福岡駅の近くの病院に通院しているときに車を停めるのに苦労しました。警察に申し出ると高齢者用の駐車スペースに止められると聞きました。ふじみ野駅にも設置することができないでしょうか。警察署に話をしても検討させていただきたいと言われたが、その後進んでいません。

市 長 上福岡駅東口にあるサンロードのことだと思いますが、車道が広いことから、かつては高齢者用だけではなく誰でも利用できる駐車スペースがありましたが、県内では廃止の方向であります。パーキングスペースをいきなり全て無くすと影響が大きいですので、数か所残していただきました。廃止の方向であることから、新たに設置することは難しいと思います。新たに車道に駐車スペースを設けることは交通安全上も難しく、駅周辺にある有料の駐車スペースを利用させていただくことになるかと思います。

参加者 苗間神明神社前の上沢勝瀬通り線の整備が課題だと思います。民地が通れるようになっていますが、自由に通ることができるように

なるのでしょうか。また、道路の完成はいつ頃になるのでしょうか。

市長 私も今日初めて見まして、暫定的に通路として造られたものだと思います。

上沢勝瀬通り線の整備につきましては、今後の市政運営を示す3か年実施計画では、平成32年度の完成を目指しておりましたが、地権者の状況や県道との交差点につきましても改良する必要があり、平成33年度中の完成を目指しております。

参加者 大井中央公民館は今年の10月に取り壊されると聞いたのですが、どうなるのでしょうか。

市長 10月に解体は行いません。来年の4月から1年間をかけて上福岡公民館の改修を行う予定で、大井中央公民館の解体は再来年になります。上福岡公民館は大規模改修を行い、大井中央公民館については、耐震性がないことから建て替えを行う予定で、近隣にある図書館も老朽化していることから、複合化して建設することを検討しております。

参加者 老人会で演芸大会を行っていますが、その際に取り壊しの話がありました。

市長 中央公民館の建て替え後に、勤労福祉センターに取り掛かる予定で、大きなホールではなく小さなホールにすることを検討しております。ホールは稼働率が低い割に維持管理費が掛かることから、大きなホールについては1箇所にすることをご理解していただけないかと思います。

参加者 上福岡給食センター跡地に整備する駐車場はフクトピア専用の駐車場で、有料化になるのでしょうか。

市長 フクトピアと公用車用の駐車場を整備します。フクトピア用の駐車場は有料にはなりません。

参加者 環境センターが整備され、余熱で発電を行っていると聞きました。売電収入はどれくらいあるのでしょうか。

市 長 以前の清掃センターでは電気料を支払っていましたが、ごみを燃やす熱で発電を行い、環境センター、エコパの全ての電力を賄い、余った電力を売電して、年間で約1億円の売電収入があります。

参加者 環境センターの煙突は低いのでしょうか。

市 長 煙突の高さは普通です。今までのように水蒸気が出ていますが、有害な煙は出ていません。

参加者 家庭ごみは持ち込んでも燃やしてもらえるのでしょうか。

市 長 家庭ごみは持ち込んでいただけます。  
ご意見があればお聞きしたいのですが、公民館は社会教育施設であることから減免で行って来ました。公共施設の維持管理費で約1億1千万円が掛かっており、市民1人当たり9,900円の税金が使われていることから、少しでも利用者に受益者負担をしていただく必要があるのではないかと思います。公民館の予約をしても無料であることから、予備日をキャンセルせず使われていないことがあるなど、そういうことも考えていかなければならないと思います。

参加者 上福岡地域の集会所は使用料を取っているのでしょうか。

市 長 上福岡地域の集会施設の建物については、地域の人たちの積み立てと市からの補助金で建てていることから使用料は掛かりません。以前は光熱水費について自治会で支払っていましたが、分館では市が光熱水費を負担していることから、今は市から全額補助しています。

また、集会施設の在り方について検討を行っており、集会施設や分館を地域コミュニティ施設に位置づけ、町会の活動は無料にすることなど、自治組織連合会の役員の方々と検討しています。

参加者 市長はあったかいふじみ野市といつも言われています。本庁舎について建て替えるのではないかと考えていましたが増築と改修を行い、大井総合支所は新しくしていただきました。地域に応じて平等に施策展開を行っていただいております、今後ともお願いしたいと思

ます。

参加者 東日本大震災から8年が経とうとしており、これまで被災者の受け入れを行ってきたかと思いますが、被災者の方への対応はどうなっているのでしょうか。

市長 福島原発の事故の後には160人位の方がふじみ野市内にいる親戚や市役所を頼ってきました。埼玉県内では一番早く国から公務員住宅を借り受けるなどの対応を行ってまいりました。「おあがんなんしょ」という市民団体の方には今でも支援を行っていただいております。市としても支援として減免等を行ってきました。戻ることができるエリアの方は帰られたりしています。一番印象深いことは、市から支援物資の応援依頼を行った際、市役所のロビーが毛布や暖房器具で一杯になるほど集まってきたことです。高齢の方から「重くて持って行けないものがある」と電話があり、私も作業服を着て職員とともに取りに行ったりしました。

また、東日本大震災の直後、停電で水を上げることができず困った経験から、万が一の際に備えようとマンションの管理組合の方から自治組織を立ち上げたいという話がありました。

毎年、県内ではめずらしく全市的な防災訓練を行っています。「毎年同じことを行って意味があるのか」と意見がありますが、市役所では実戦さながらの訓練を行っています。

参加者 新しく引っ越してきた若い方が町会長のところにあいさつに来ていただくことがありました。行政側から挨拶に行くよう強く働きかけを行っているのでしょうか。

市長 強く働きかけは行っていないかと思います。自治組織の加入率は落ちており、以前は「任意加入です」と説明しておりましたが、最近「出来るだけ入っていただきたい」と説明しています。挨拶に行かれる方はありがたいなと思います。

参加者 苗間東町会の加入率は4割を下回っていることから、ありがたいことだと思います。

市長 震災が起きたときに、「町会に入っていない人には炊き出しをあ

げない」ということは行わないと思いますが、万が一の時のためにも町会に入っていただけないかと説明しております。